



# サーバ設定

- [サーバ設定 \(1 ページ\)](#)

## サーバ設定

デフォルト値として入力されるパラメータを設定できます。

Cisco Nexus ダッシュボード ファブリック コントローラ Web UI から Nexus ダッシュボード ファブリック コントローラ サーバのパラメータを設定するには、次の手順を実行します。

1. [設定 (Settings)] > [サーバ設定 (Server Settings)] を選択します。

サーバ設定はさまざまなタブに分類され、

2. 要件に基づいて設定を変更します。
3. [保存 (Save)] をクリックして設定を適用します。

### Admin 下での LAN デバイス管理の接続性

この設定は、Nexus ダッシュボード ファブリック コントローラに必要な POD の永続的な IP の使用を決定します。ユーザーが初めてファブリック コントローラ ペルソナを選択すると、永続的な IP が Nexus ダッシュボード に割り当てられているかどうかを確認するための事前チェックが行われます。永続的な IP が割り当てられていない場合、オペレーターはエラーを表示します。ユーザーは、Nexus Dashboard 管理ネットワークまたは Nexus Dashboard データネットワークのいずれかで永続的な IP を提供できます。この選択に基づいて、ユーザーは、NDFC アプリケーションページのサーバー設定の下にある LAN デバイス管理の接続性の下でオプションを指定する必要があります。デフォルトでは、[管理] が選択されていますが、ユーザーが Nexus ダッシュボード データ ネットワークで永続的な IP を提供する場合、ユーザーはオプションとして [データ] を選択する必要があります。

### SMTP 下の SMTP ホスト

この設定は、プログラム可能なレポートとアラームの EMAIL アウトオブバンド通知として使用されます。NDFC 12.0.1a リリース以降、ユーザーは電子メール通知で NDFC アラームとレポートを受信できるようになりました。SMTP ホストアドレスは、Nexus ダッシュボード管理

インターフェイスを介して到達可能である必要があります。Nexus ダッシュボード管理インターフェイスとSMTPホストが異なるIPサブネットの一部である場合、ユーザーはNexusダッシュボードクラスタ構成で静的ルートエントリを作成する必要があります。

### LAN ファブリックの下のすべてのファブリックで展開を無効にする

この設定により、NDFCインスタンスで定義されているすべてのファブリックの展開が無効になります。ユーザーは、ファブリックレベルごとに展開を有効にすることはできません。たとえば、ユーザーが3つのファブリックを持っている場合、構成の観点から3つのファブリックすべてが無効になります。ユーザーは、必要に応じてさまざまな構成のステージングを続けることができます。後で、ユーザーは、このサーバー設定のチェックを外すことにより、展開アクションを有効にすることができます。

### PM 下の LAN スイッチの温度を収集する

この設定により、スイッチの温度の詳細を収集し、それを [ファブリックの概要] と [メトリック] セクションに表示することができます。デフォルトでは、温度データは収集されません。この設定を有効にすると、ユーザーはファブリックスイッチの温度情報も表示できます。